

平成22年度事業評価シート(ハード事業)

NO. 92

評価2 ハード

1 事業名等(Plan 1)

事業名	歴史的町並保存事業											
所属名	教育委員会 文化財 課 文化財 グループ											
第七次総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	分野	4	文化	基本施策	1	郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える	施策	1	文化財などの保存・継承
予算科目	9	4	7	文化財	費	94755	伝統的建造物群保存地区保存修理					事業
					費							事業
					費							事業
根拠条例・実施要綱・担当部門計画等	高山市文化財保護条例、同施行規則、補助要綱、三町・下二之町大新町防災計画											
事務事業の実施主体	<input type="radio"/> 市 <input type="radio"/> 市以外→											
事務事業の実施方法	<input type="radio"/> 直営 <input type="radio"/> 指定管理 <input type="radio"/> 業務委託 <input type="radio"/> 団体等補助 <input type="radio"/> その他→											

2 事業の目的・概要(Plan 2)

目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

目的	誰のために(対象)	市民・観光客	受益者数	4,136,231 人
目的	対象をどういう状態にしたいのか(意図)	伝建地区内における伝建物の保存整備及び非伝建物の景観復元		
概要	事業の実施手法、手順	伝建地区内における伝建物の修理及び非伝建物の修景事業に対する補助等。		
概要	事業始期・終期	始期: 年度から	始期: 年度まで	設定なし
今年度の改善・改革ポイント	前年度の評価結果、指示事項等を踏まえ記入 保存計画に基づき、地区内の修理修景事業を継続して実施していく。			

3 事業費の推移・結果(Do)

区分		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
総合計画計画額(当初)		40,000	40,000	50,500	40,000	40,000	
総合計画計画額(計画額)		40,000	40,000	50,500	40,000	40,000	
財源	事業費	40,500	50,600	50,500			
	(計画・予算・見込・決算額)	40,500	50,147				
	国庫支出金	予算額	20,000	25,000	25,000		
		決算・見込	20,000	25,000			
	県支出金	予算額	4,000	1,250			
		決算・見込	4,000	1,250			
	地方債	予算額					
		決算・見込					
	受益者負担	予算額					
		決算・見込					
繰入	予算額						
	決算・見込						
一般財源	予算額	16,500	24,350	25,500			
	決算・見込	16,500	23,897				
H17国勢調査 96,231 人 32,174 世帯 ※コスト→行政活動の単位当たり経費算出、変動を経年比較により、効率性評価							
コスト指標	受益者負担率(受益者負担/事業費) 単位 %	-	-				
	市民1人当たりコスト(事業費/H17人口) 単位 円/人	421	521				
	1世帯当たりコスト(事業費/H17世帯) 単位 円/世帯	1,259	1,559				
	受益者1人当たりコスト(事業費/指標) 単位 円/人						
	↓ その他(空欄にコスト指標名記入、事業費をベースとして単位当たりコストを算出) 単位 円/人						

(成果面)

活動・成果指標	指標名	資料・出展算出式						単位	方向
		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
活動指標	活動指標(投入した行政資源を使い、どんな活動を行ったか、どのようなサービスを市民に提供したかを表す指標)			12	10	10	10	件	↑
	目標値	-	-	12	10	10	10		
	実績値	9	14	0					
成果指標	成果指標(活動やサービスを行った結果、市民にどのような影響(効果)をどれだけ与えたかを表す指標)			0	0	0	0	件	↑
	目標値	-	-	0	0	0	0		
	実績値	-	-	0					

3 事業費の推移・結果(Do)

前年度までの実績(累計)	対象・手段	伝建地区修理修景事業補助	
	事業費	210,914 千円	
	(内容)		
	その他		
本年度	対象・手段	伝建地区修理修景事業補助	50,500 千円
	事業費		
	(内容)		
	その他		
受益者負担	対象・手段		
	受益者負担		
	(内容)		
	その他		

4 分析・評価(Check)

①事業の目的評価(事業の目的・概要に対する妥当性から事業の必要性を評価)		判定	目的評価
(現状及び判定理由)	国選定の文化財である三町・下二之町大新伝建地区の修理修景事業は地区住民のみならず、一般市民、観光客からのニーズも高い。	A:非常に高い B:高い C:低い D:非常に低い	A
②コスト面評価(事業の推移、コスト指標の結果からコスト面を評価)		項目	②コスト面
該当項目「1」入力(注 平成20年度から平成22年度第一四半期までの推移から判断)		増加 維持 減少	
減少		維持	1
増加		減少	
(判定理由) 全体計画に基づき、修理修景事業を実施していく。		③成果面	
③成果面評価(活動指標・成果指標から成果面を評価)		拡大 維持 減少	
該当項目「1」入力(注 平成20年度から平成22年度第一四半期までの推移から判断)		拡大	
拡大		維持	1
減少		減少	
(判定理由) 全体計画に基づき、修理修景事業を実施していく。		コスト・成果ポジション	
		E 第3水準	
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第1水準」		→ I 「良い」	良好な水準を維持
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第2水準」		→ II 「やや良い」	「I」の水準に向けた改善が必要
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第3水準」		→ III 「普通」	「II」の水準に向けた改善が必要
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第4水準」		→ IV 「やや良くない」	「III」の水準に向けた改善が必要
目的評価「C・D」もしくはコスト・成果「第5水準」		→ V 「良くない」	「IV」の水準に向けた改善もしくは事業の休止、廃止などの検討が必要
一次評価 主管課		評価区分	III
判断の理由及び課題問題点 コスト面では維持しており、地区住民のみでなく、一般市民、観光客からのニーズも高いため。			

5 今後の方向性(Action)

活動の方針	評価結果に対する改善提案(下記チェック)	計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 改善・継続 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/>
	実施	文化財の保護は永続的なものであり、今後も継続して実施していく。
	次年度実施方針	保存計画に基づき、地区内の修理修景事業を継続して実施していく。
総合評価		コスト 中 成果 中 評価区分 III
「II」以上の水準に向けた改善が必要		飛騨高山のもっとも重要な地域資源を守るためにも本事業は重要であり、コスト削減を図りながら、計画的に実施していく必要がある。